

ビジョン

「人起点の変革」の最前線に立ち、  
社会にポジティブな動力を生み出す

ケイパビリティ → P. 30

マーケティング、テクノロジー、コンサルティングの  
融合によるソリューションの進化

2022年度ハイライト

売上総利益	オーガニック成長率	調整後営業利益
<b>1.1兆円</b>	<b>4.1%*</b>	<b>2,031億円</b>
オペレーティング・マージン	調整後配当性向	調整後ROE
<b>18.4%*</b>	<b>32.0%</b>	<b>15.1%</b>

\*ロシア除外ベース

カスタマートランスフォーメーション & テクノロジー (CT&T)

電通グループの事業は高成長領域に強み

CT&Tの売上総利益は **17.5%** (為替影響排除ベース) 成長し、  
構成比は **32.3%** に到達

CT&Tとは:

当社が2021年2月発表の中期経営計画で示したマーケティングテクノロジー、カスタマー・エクスペリエンスマネジメント、コマース、システムインテグレーション、トランスフォーメーション戦略・グロース戦略などの事業で構成される高成長領域。

オーガニックグロースとM&AによるCT&Tの拡大



マテリアリティ → P. 15

- 企業倫理とコンプライアンス/データセキュリティ
- 人的資本の開発
- イノベーションに導くリーダーシップ
- 気候変動へのアクション
- DEI

事業規模

日本で創業  
現在は、グローバルに事業展開

約**145**国・地域

グループ従業員数(2023年7月時点)

約**72,000**名

サステナビリティ → P. 49

2030  
ソーシャルインパクトターゲット

- 持続可能な世界
- 公平で開かれた社会
- デジタル社会の価値向上

グループサステナビリティ委員会  
を新設

→ P. 51

多様性かつ独立性を担保した  
取締役会

→ P. 62

中期経営計画

→ P. 21

事業変革と成長

2021年度に対するCAGR  
2024年度にかけて **4-5%**

カスタマートランスフォーメーション&テクノロジーの  
売上総利益構成比

今後数年で **50%**

オペレーションとマージン

2023年度までのオペレーティング・マージンのレンジ

**17.0-18.0%**

2024年度に確保するオペレーティング・マージン

**18.0%**

資本配分と株主還元

設備投資

2024年度までに  
約**700**億円 想定

戦略領域へのM&A資金

**2,500-3,000**億円 想定

期末時点のNet debt/  
調整後EBITDA倍率  
(IFRS16控除ベース)の  
上限は1.5倍

中期的な目線は **1.0-1.5**倍

基本的1株当たり調整後  
当期利益に対する配当性向

2024年度までに漸進的に  
**35%**

ソーシャルインパクトとESG

CO<sub>2</sub>の排出量

2030年度までに **46%** 削減

再生可能エネルギー利用率

2030年度までに **100%**

(再生可能エネルギーが利用可能な国・地域限定)

従業員エンゲージメントスコアの向上、従業員のDEIの強化

女性リーダー比率 2030年までに **45%**